

## 「アイヌ民族いない」発言の撤回と謝罪を求める要求書

2014年8月22日

札幌市議会議員

金子 快之 様

札幌市議会自民党・市民会議

会長 村松 正海 様

札幌市議会民主党・市民連合議員

会長 大嶋 薫



札幌市議会議員の金子快之氏（東区）が、ツイッターで「アイヌ民族なんて、いまはもういないんですよ。せいぜいアイヌ系日本人が良いところですよ」と書き込んだことに、多くの批判が寄せられています。しかし、新聞報道では金子議員が所属する自民党・市民会議は、「個人的な見解である」として容認の姿勢を示し、本人も撤回や謝罪の意思はないとのことでした。

「アイヌ民族はいない」という金子議員の発言は、全くの誤りであり、アイヌ民族のこれまでの苦難の歴史や権利回復を求める闘いを全否定するばかりか、今現在、多くの困難の中で歴史や文化の伝承に取り組むアイヌ民族の尊厳を踏みにじる暴言であるといえます。

また、2007年9月に国連総会で「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、2008年6月の自民党政府のもとで衆参両院が行った、アイヌ民族を日本の「先住民族」と認めた「国会決議」をないがしろにするものです。

よって、私ども民主党・市民連合議員会は、金子議員に対し発言の誤りを率直に認めて撤回・謝罪すること、また、札幌市議会の良識を示すためにも所属会派である自民党・市民会議が金子議員に対し、発言の撤回と謝罪を求める決定を行うことを要求します。